

洞爺湖町議会平成26年9月会議一般質問

| 質問議員 | 件 名 | 質 問 要 旨 | 備考 |
|-------------|--|--|----|
| 11番 沼田松夫 | | (2)不在地主が居るためどんな影響があるか。 (3)国に対策を求めるべきではないか。 | |
| 9番 下道英明 | 1.がん対策の強化について 2.公共施設の管理のあり方について | (1)がんは、国民の2人に1人が罹り、3人に1人が死亡するなど、国民病ともいえる病気である。当町における各種がん検診の受診者数・受診率実態、これまでのがん予防に取り組んだことは何か、また今後の取り組みは。 (2)がんの予防や早期発見の重要性を周知するための啓発事業はできないか。また「がん予防重点健康教育」など小・中学校におけるがん教育についてはどうか。 (3)「がん対策推進条例」など、条例という立法措置により、町及び関係の方々の役割や基本的な施策の柱を明らかにすることで、実効性の高いがん対策を推進する考えは。 (1)今後の人口減少等による公共施設等の利用需要の変化を踏まえ、公共施設全体の状況をどのように分析しているか (2)保有施設の更新費用推計の基本的な考え方と耐用年数及び更新時期についての課題は何か見解を伺う。 (3)町民文化・社会教育系施設の利用状況と一人当たり年間コストや稼働率をどう積算し、利用料金の改定の有無が必要かどうか見解を伺う。 (4)高齢化を迎えて施設の拡充を計画したり、休止・廃止を予定している公共施設はあるのかないのか。 (5)公共施設の最適な配置を実現し、将来の財政負担を軽減・平準化する全体計画をどのように進めていくのか見解を伺う。 | |
| 8番 岡崎訓 | 1.通学路の交通安全対策について | (1)町内の通学路の交通安全対策について伺う。 (2)洞爺地区の通学路の町道2号線と町道10号線の交差点の安全対策を伺う。 | |

洞爺湖町議会平成26年9月会議一般質問

| 質問議員 | 件 名 | 質 問 要 旨 | 備考 |
|----------------|--|--|----|
| 8 番 岡 崎 訓 | 2 . 市街地の活性化について | <p>(1) 洞爺地区の樹齢約 1 4 0 年の藤の木の棚の拡大と回廊の整備を図り市街地の活性化につなげる考えを伺う。</p> <p>(2) 温泉スタンドを利活用した活性化策の考えを伺う。</p> | |
| 4 番 立 野 広 志 | <p>1 . 来年 4 月実施の「子ども・子育て支援制度」は、すべての子どもたちに必要な保育を保障するものとなっているか。</p> <p>2 . 地域活性化の“起爆剤”リフォーム助成制度の更なる充実と、商店リニューアル助成制度の実施で、地域振興策の新たな展開を求める。</p> | <p>(1) 「子ども子育て関連三法 (2012.8 成立) 」について、制度の仕組みや利用の手続き、子どもの権利保障の問題にかかわって、町長の認識はどのようなものか。</p> <p>(2) 2015 年 4 月から新制度を実施するためには、2014 年秋から様々な手続きを開始しなければならず、関係条例の整備など、諸準備を 9 月までに終える必要があるが、新制度準備のスケジュールを示されたい。</p> <p>(3) 当事者である保護者や保育関係者へ内容説明会を行う考えがあるか。</p> <p>(4) 新制度においても、児童福祉法 24 条 1 項に規定にもとづき、保育所保育を求める子どもを保育所に入所させて保育する責任があると考えますが、その考えはあるか。</p> <p>(5) 保育を福祉行政の一環として位置付け、国や道との関係では、保育制度の変更や運用にともなう対応。庁内では、保健師と連携した、入所前からの幼児の健康状態や家庭環境の把握と入所後の対応など、当町は、とくにこうしたきめ細かな対応が求められるだけに、保育行政の所管変えを考えるべきではないか。</p> <p>(1) 住宅リフォーム助成制度が開始されて以降の運用状況と、地域経済に与える波及効果をどのように評価しているか。</p> <p>(2) さらに使い勝手が良く、多くの町民や小規模事業者が利用できるための改善や検討は行われているのか。</p> <p>(3) 地域振興策の新たな展開として、小規模企業振興基本法の理念からも、商店リニューアル助成を行い、「商店の老朽化を何とかしたい」「もう少し頑張りたい」という商店の願いにこたえ対策をはかる考えはないか。</p> | |

洞爺湖町議会平成26年9月会議一般質問

| 質問議員 | 件 名 | 質 問 要 旨 | 備考 |
|----------------------|------------------------------|--|----|
| <p>4番 立野 広志</p> | <p>3. 災害危険からの避難対策の対応について</p> | <p>(1) 災害時の避難計画(対策)は、「地域防災計画」に必ず位置付けられているものの、実際の災害発生時には、避難勧告や指示の遅れ、避難する住民が少ないなどの問題がたびたび指摘されている。</p> <p>防災計画には、避難場所までの住民の避難誘導(避難行動に対する具体的支援)についての、行政の具体的対応が記載されていない。現実には、避難行動の遅れ等による犠牲者が後を絶たないことから、住民への避難誘導対策が避難場所の環境整備とともに避難対策の重要な課題ではないか。</p> <p>現在の地域防災計画における避難計画(対策)は、具体性に欠けていないか。</p> <p>避難実行に具体的に問われること。(情報の伝達、病院、福祉施設等の入所者避難計画策定の遅れ、地域で生活する災害時要援護者の避難対策)</p> <p>津波、噴火災害など、当町における災害発生頻度と危険性を考慮し、防災担当部署の強化と職員の専任及び養成に努める必要がある。</p> | |
| <p>13番 七戸 輝彦</p> | <p>1. 公営住宅の居室のメンテナンスについて</p> | <p>(1) 町営住宅の退去時には、入居者と役場の関係者と、双方の立ち会いのもとで、状態の確認をしていますか。</p> <p>(2) 汚損がひどく、入居者による責任が明確な場合は、どのような負担の方法をとっているか。</p> <p>(3) 汚損の責任が明確でない場合、建具のように外せるものは入居者が負担し、その他は運営側がメンテの負担をすべきだと思うが、ルールを伺いたい。</p> <p>(4) 例えば、一定期間を経過した室内のクロスなどは、定期的に張り替えるなどの基準を設けているか。</p> | |

洞爺湖町議会平成26年9月会議一般質問

| 質問議員 | 件 名 | 質 問 要 旨 | 備考 |
|-------------|--|--|----|
| 13番 七戸輝彦 | 2. 長い期間、神社などが建っている町有地の扱いについて 3. 洞爺駅のバリアフリー化について | (1) 2012年の9月に一般質問で伺った件で、「砂川政教分離訴訟の」最高裁判決を受け、月浦と花和地区の神社の敷地である町有地を無償譲渡するという町の方角が示されていた。その後の経過について伺いたい。 (1) 2013年の6月に一般質問で伺った件で、その後何の返事もいただけないのは残念です。洞爺駅のエレベーターについては、JRに訊いてみるなり、勉強するなり、何らかの行動が町にあれば伺っておきたいと思えます。 (2) 2016年3月には、「新函館北斗」まで、必ず来ます。高齢者の方や障害のある方、乳母車を押しながらも洞爺湖観光を楽しんでいただく入口として、洞爺駅のバリアフリー化は不可欠だと思いますが、考えを聞かせてください。 | |
| 5番 板垣正人 | 1. 消防団の処遇改善について 2. 高齢者のボランティアについて | (1) 昨年国会で「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が成立したが、当町として、どのような施策が講じられたかお聞きします。 (2) 団員の減少、高齢化等深刻な問題ですが、若手の町職員や新規採用職員等に入団を勧めるべきと思うが町の考えは。 (1) 高齢化社会を迎え、元気な高齢者の方々に地域ボランティア活動等に協力してもらい、実績等をポイント制(仮称 高齢者のボランティアポイント制度)する考えはないかお聞きします。 | |
| 3番 松井保明 | 1. ジオパークについて | (1) 洞爺湖町のジオパーク最終到達は何か。 (2) ジオパーク事業に関わる財源対策はどこに求めるのか。 (3) ジオパーク事業に対しての成果と検証はどこで見分けるか。その手段と方法は。 (4) ジオパークについて地域住民に対して意識改革と啓蒙をどう進めるのか。 | |

洞爺湖町議会平成26年9月会議一般質問

| 質問議員 | 件 名 | 質 問 要 旨 | 備考 |
|----------------------|--|---|----|
| <p>3番 松井保明</p> | <p>2. 認知症対策について</p> | <p>(5) 洞爺湖町独自(単体)のジオパーク取組について。 (6) ジオパーク事業を通して地域経済効果をどう創出するのか。 (7) 行政先行から民間移行への考えは。その時期は。</p> <p>(1) 認知症社会をむかえての認識と見解について。 (2) 予防対策としての具体的な取組について (3) 認知症から発する徘徊者を見守るための政策は。 (4) 徘徊者を見守るために広域的に取組む考えは。 (5) 在宅で見守る者の負担、軽減策は。</p> | |
| <p>10番 越前谷邦夫</p> | <p>1. 西いぶり定住自立圏(胆振管内6市町)とりわけ洞爺湖町の取組は</p> <p>2. 土砂災害防止に基づく避難の勧告や指示は</p> | <p>(1) 国は地方経済再生や人口減少対策の司令塔(まち、ひと、しごと、創生本部)を立ち上げたが、国ばかりに頼るのではなく洞爺湖独自の創生対策を促進させるべきと思う。全体像を伺いたい。 (2) 子供(文化、防犯)若者(雇用、子育て)高齢者(地域支援)等に愛着心に満ちた地域社会を提供する責務がある。安心、安全、安定社会を創造するために洞爺湖町は今、何をどのように前進させようとしているのか。展望と具体策を伺いたい。</p> <p>(1) 土砂災害の発生予測は難しい。雨量や地形、地質などの要因が絡み合うためだという。命を確実に守る行動は早期の避難以外にないと思う。避難の勧告や指示を出す考え方を住民に早急浸透させ定着させることが重要である。洞爺湖町の土砂災害防止策は。</p> | |